

⑤

令和5年度

小平・村山・大和衛生組合

一般会計歳入歳出決算

審 査 意 見 書

小平・村山・大和衛生組合監査委員



小・村・大監発第7号

令和6年10月29日

小平・村山・大和衛生組合

管理者 小林洋子 殿

小平・村山・大和衛生組合

監査委員 岡村健司

監査委員 三ツ寺俊行

監査委員 高橋弘志

令和5年度小平・村山・大和衛生組合

一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和5年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を付します。



令和5年度小平・村山・大和衛生組合  
一般会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の期日

令和6年10月21日(月)

2 審査の場所

小平・村山・大和衛生組合 4・5号ごみ焼却施設3階 大会議室

3 審査の対象

令和5年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算

4 審査の手續

この審査は、管理者から提出された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が、関係法規に基づいて作成されているかを確認するとともに、各計数に誤りがないかを検証するために、関係帳簿及び証拠書類と照合するとともに、事業が最も効果的に執行され、かつ、これに伴う予算が適正に執行されているかを主眼に審査したほか、必要と認められる審査手續により実施した。

5 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書については、いずれも関係法規に準拠しており、各計数についても関係帳簿、証拠書類と符合し、誤りのないものと認められた。

また、予算執行も、おおむね適正に行われていることが認められた。



審 查 所 見





令和5年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算は、対前年度比で、歳入が26.9%の増、歳出が20.1%の増である。

予算執行に当たり、市民の貴重な税金である組織市分担金を有効に活用するという認識のもと、引き続き効率的で効果的な事業運営を実施していくことを望む。

新ごみ処理施設建設工事については、着実なスケジュール管理のもとに施工管理を行い、既存の処理施設については、組織市からのごみ及び資源物の処理に滞りが生じないよう、引き続き必要な補修工事を計画的に実施していくことを望む。

また、資金運用については、令和5年度から債券の運用を開始したことから、先行きを一層注視し、引き続き、安全性及び流動性を確保した上で、効率的な運用を行うことを望む。

決算における主な特徴点などは以下のとおりである。

## 歳入に関する概要

### 【1款 分担金及び負担金】

1款分担金及び負担金は、組織市3市からの分担金で、令和4年度と比較すると、小平市は、8.98%、1億392万2,000円増の12億6,057万6,000円で、負担率51.24%、東大和市は、6.10%、3,428万円増の5億9,594万7,000円で、負担率24.23%、武蔵村山市は5.56%、3,179万8,000円増の6億347万7,000円で、負担率24.53%、3市の合計では、7.42%、1億円7,000万円増の24億6,000万円である。

### 【2款 使用料及び手数料】

2款使用料及び手数料は、行政財産使用料条例に基づき徴収した組合敷地内の電柱、自動販売機等の土地及び建物使用料であり、収入済額は、9万2,107円である。

### 【3款 国庫支出金】

3款国庫支出金は、循環型社会形成推進交付金として、処理施設の整備事業に対して交付された国庫補助金である。当初予算では、令和5年度に施工等を行う分の新ごみ処理施設建設事業について、国の令和4年度補正予算の内示を受けたことにより、当該内示額を組合において令和4年度第2号補正予算で増額し、翌年度へ未収入特定財源として繰り越しとなっていた。このため、当初予算には計

上はなく、収入済額はこの繰り越し分と同額の13億1,857万6,000円となっている。

また、令和6年度に施工する新ごみ処理施設建設事業が、同様に国の令和5年度補正予算の交付対象として内示されたことを受け、組合の令和5年度第2号補正において51億4,769万5,000円増額し、繰越明許費として設定している。

#### 【4款 財産収入】

4款財産収入は、職員退職手当基金、財政調整基金及び施設整備基金の利子であり、定期預金での運用に加え、年度末に債券の運用を開始した。当初予算31万円のところ、定期預金での運用益があったため11万1,000円の増額補正をし、収入済額は41万6,620円である。

#### 【5款 繰入金】

5款繰入金は、財政調整基金及び施設整備基金からの繰入金として当初予算額はそれぞれ2億5,618万1,000円及び242万円であったが、歳入歳出の財源調整として財政調整基金を6,148万2,000円減額し、3款国庫支出金と同様に増額補正し、翌年度へ既収入特定財源として繰り越すため、施設整備基金を5億8,423万3,000円増額している。収入済額は予算額と同額で、財政調整基金は1億9,469万9,000円、施設整備基金は5億8,665万3,000円である。

#### 【6款 繰越金】

6款繰越金は、当初予算額2,000万円のところ、令和4年度歳計剰余金の確定に伴い1億4,302万5,000円を増額補正し、令和4年度からの繰越明許費の財源1億5,145万円を加え、収入済額は、3億1,447万5,608円となっている。

#### 【7款 諸収入】

7款諸収入は、当初予算額2,499万9,000円のところ、アルミ売払い等及び容器包装リサイクル協会拠出金などについて6,380万4,000円を増額補正し、収入済額は1億862万5,390円となっている。

同款1項1目組合預金利子は、歳計現金の利子で、収入済額は8,500円である。対前年度比較では、85.1%、3,909円の増となっている。同款2項1目雑入は、鉄くず、焼鉄、アルミ等売払い、容器包装リサイクル協会拠出金等で、収入済額は1億861万6,890円、対前年度比較では、△27.2%、4,058万1,471円の減となっている。

#### 【8款 組合債】

8款組合債は、新ごみ処理施設整備事業に伴う組合債である。国庫支出金と同様に未収入特定財源として繰り越したことにより当初予算に計上はなく、また、国庫支出金と同様に、令和6年度施工分

として83億9,720万円増額補正している。

収入済額はこの繰り越し分と同額の24億800万円、対前年度比較では、25.5%、4億8,900万円の増となっている。

以上により、歳入全体では、当初予算額27億6,400万円のところ、142億7,458万6,000円の増額補正を行い、収入済額は73億9,153万7,725円で、調定額に対する収入割合は100.0%となり、不納欠損額、収入未済額はいずれもなく決算をしている。前年度と比較すると、26.9%、15億6,753万8,579円の増となっている。

## 歳出に関する概要

### 【1款 議会費】

1款議会費は、当初予算額285万6,000円、支出済額265万9,887円、不用額19万6,113円、執行率93.1%となっている。

### 【2款 総務費】

2款総務費1項1目一般管理費は、管理者をはじめとする特別職及び一般職員の給料、職員手当、共済費等の人件費が主な内容である。当初予算額1億8,625万2,000円のところ、人件費で職員の異動等による変動分、12節委託料で契約差金が生じたこと、18節負担金、補助及び交付金で、えんとつフェスティバル及び互助会事業を中止したことにより、全体で444万6,000円の減額補正を行い、支出済額1億7,923万1,714円、不用額323万1,286円、執行率98.2%となっている。

同項2目財産管理費は、建物及び庁用車の保険料、土地借上料、基金積立金が主な内容となっている。当初予算9,600万3,000円のところ、令和4年度歳計剰余金の確定、容器包装リサイクル協会拠出金の積立、補正に伴う歳入歳出の調整により、24節積立金を増額するなど、全体では3億6,617万1,000円の増額補正を行っている。支出済額4億6,145万9,771円、不用額71万4,229円、執行率99.8%となっている。

同款3項1目余熱利用施設費は、こもれびの足湯の運営に伴う清掃用消耗品、光熱水費、建物損害保険料、施設維持管理業務委託費、設備補修費などが主な内容となっている。当初予算731万5,000円、支出済額700万616円、不用額31万4,384円、執行率95.7%となっている。

2款総務費全体では、当初予算額2億9,037万3,000円のところ、合計3億6,172万

5,000円の増額補正及び65万7,000円の予備費充当により、予算現額を6億5,275万5,000円としている。支出済額6億4,849万3,730円、不用額426万1,270円、執行率99.3%となっている。

### 【3款 塵芥処理場費】

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費は、ごみ処理施設の修繕・補修工事、最終処分場への焼却残渣の運搬等の業務、ごみ焼却施設の運転業務等、ごみ処理施設の運営・維持管理に要した経費である。また、令和4年度から不燃・粗大ごみ処理施設の運営維持管理を特定目的会社であるグリーンパーク小平・村山・大和株式会社に委託している。当初予算額18億8,895万2,000円のところ、10節需用費で、電気料金の燃料調整費が見込みを下回ったことなどによる減額があり、12節委託料で、再資源化を委託している破碎残渣をごみ焼却施設で焼却処理したことによる残渣量の減少に伴う減額など、全体で2億356万4,000円を減額補正したことにより、予算現額を16億8,538万8,000円としている。支出済額15億4,077万3,192円、不用額1億4,461万4,808円、執行率91.4%となっている。

同項3目資源物処理維持管理費は、資源物中間処理施設の運転業務、選別後の残渣の運搬業務等、資源物中間処理施設の運営・維持管理に要した経費である。当初予算額2億8,702万7,000円のところ、12節委託料等で契約差金が生じたことにより、1,141万4,000円を減額補正し、予算現額を2億7,561万3,000円としている。支出済額2億6,889万2,553円、不用額672万447円、執行率97.6%となっている。

同款2項1目塵芥処理場建設費は、新ごみ処理施設整備事業に要した経費が主な内容である。当初予算442万3,000円のところ、歳入の3款国庫支出金と同様に、12節委託料、及び14節工事請負費で、国の令和5年度補正予算による国庫補助金の内示に伴い、令和6年度に施工等を行う分の新ごみ処理施設の建設に係る経費を追加することにより、141億2,912万8,000円を増額補正し、繰越事業費38億7,802万6,000円を加えて、予算現額を180億1,157万7,000円としている。支出済額38億8,226万9,805円、繰越明許費141億2,912万8,000円を翌年度へ繰り越し、不用額は17万9,195円となっている。

3款塵芥処理場費全体では、当初予算額21億8,069万8,000円のところ、合計139億1,415万円増額補正し、繰り越し分38億7,802万6,000円を加えて、予算現額を199億7,287万4,000円としている。支出済額56億9,214万7,885円、繰越明許費141億2,912万8,000円、不用額1億5,159万8,115円、繰越明許費の予算を除いた実質の執行率は97.4%となっている。

#### 【4款 公債費】

4款公債費は、3市共同資源物処理施設整備事業、不燃・粗大ごみ処理施設整備事業及び新ごみ処理施設整備事業の起債に対する元金及び利子の償還に要した経費で、当初予算額2億7,759万1,000円のところ、令和4年度借入分の利子の支払額の確定に伴い、128万9,000円の減額補正により、予算現額を2億7,630万2,000円とし、支出済額2億7,630万1,430円、執行率100%となっている。

#### 【5款 予備費】

5款予備費は、当初予算額1,248万2,000円で、2款1項1目一般管理費へ、65万7,000円の予備費充当をしている。

以上、予備費を含めた歳出合計は、当初予算額27億6,400万円のところ、差し引き合計142億7,458万6,000円の増額補正をし、繰越分38億7,802万6,000円を加えて、予算現額を209億1,661万2,000円としている。支出済額66億1,960万2,932円、繰越明許費141億2,912万8,000円、不用額1億6,788万1,068円、繰越明許費を除いた執行率は97.5%、予備費を除いた実質の執行率は97.7%をもって事業が執行されている。

#### 補正予算について

補正予算の措置については、以下の内容で2回行っている。

#### 補正予算（第1号） ー令和5年11月16日 11月定例会 ー

債務負担行為では、5号炉耐火物補修工事他2件設定している。5号炉耐火物補修工事は令和6年度の4月から5月までの間に、焼却炉の停止期間を利用して行う工事で、年度内に契約を締結し、工事の準備等を進めることができるようにしたものである。新ごみ処理施設整備運営 令和5年度インプレスライド適用運営委託費分は、不燃・粗大ごみ処理施設の運営維持管理について、新ごみ処理施設整備運営 令和5年度インプレスライド適用工事請負費分は、新ごみ処理施設建設工事について、資材価格の高騰などにより、来年度以降の契約額の変更が見込まれるため設定するものである。

歳入では、歳出補正額と均衡させるため、5款1項1目財政調整基金繰入金金を6,148万2,000円減額している。

6款繰越金では、令和4年度決算剰余金の確定に伴い、1億4,302万5,000円増額している。

歳出では、令和4年度歳計剰余金の2分の1の額、及び容器包装リサイクル協会拠出金の確定に伴い、財政調整基金に積み立てることにより、2款1項2目財産管理費24節積立金を8,154万3,000円増額している。

#### 補正予算（第2号） ー令和6年2月15日 2月定例会 ー

令和6年度に施工等を行う分の新ごみ処理施設建設事業に係る歳入歳出予算を令和5年度に追加した上で、翌年度への繰越明許費として3件設定している。

債務負担行為では、来年度4月の焼却炉の停止期間に改修工事を実施する必要があることから、今年度内に契約を締結し工事の準備を進めることができるよう足湯施設舗装改修工事を追加し、また、令和6年度施工分を補正予算として計上したことに伴い、新ごみ処理施設整備運営（令和5年度インプレスライド適用工事請負費分）の期間の変更及び限度額の減額をしている。

地方債については、同様の理由により、令和6年度施工分の起債の限度額を新たに設定する補正をしている。

歳入では、3款1項1目廃棄物処理施設整備費補助金、5款1項2目施設整備基金繰入金、及び8款1項1目組合債は、繰越明許費設定及び地方債補正に伴い、それぞれ51億4,769万5,000円、5億8,423万3,000円、83億9,720万円増額している。

4款1項1目利子及び配当金では、定期預金による運用益があったことにより11万1,000円増額している。

7款2項1目雑入では、鉄くず等の売払単価が予想を上回ったことなどにより2,399万1,000円、ペットボトルの単価や引渡し量の見込みなどから容器包装リサイクル協会拠出金4,498万8,000円増額している。

歳出では、2款総務費1項1目一般管理費で、職員の異動等による変動分を精査したことに伴い、2節給料、3節職員手当等及び4節共済費で合計212万円を減額し、12節委託料及び18節負担金、補助及び交付金では、えんとつフェスティバル等の中止、契約差金が生じたことなどにより合計232万6,000円を減額している。

同項2目財産管理費では、10節需用費で、車両の燃料費が見込みを下回ったことにより9万8,000円減額し、24節積立金で、主に財政調整基金について、容器包装リサイクル協会拠出金の積立等により2億8,472万6,000円増額している。

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費では、10節需用費で、薬品油脂類の購入単価、及び電気料金の燃料調整費が見込みを下回ったことなどにより、1億3,271万円9,000円減額し、12節委託料では、再資源化を委託する破碎残渣をごみ焼却施設で焼却処理したことにより処理量を減らしたこと、及び契約差金などにより、7,071万2,000円を減額している。26節公課費では、大気汚染負荷量賦課金を13万3,000円減額している。

同項3目資源物処理維持管理費では、10節需用費及び12節委託料で、契約差金が生じたことなどにより、1,141万4,000円減額している。

2項1目塵芥処理場建設費では、12節委託料及び14節工事請負費で、国の令和5年度補正予算による国庫補助金の内示に伴い、令和6年度に施工等を行う分の新ごみ処理施設の建設に係る経費を追加することなどにより、それぞれ5,419万7,000円、140億7,493万1,000円増額している。

4款公債費では、令和4年度の借入分として、利子の支払額の確定に伴い、128万9,000円減額している。

#### **ごみ処理施設の補修工事等について**

3款1項2目塵芥処理維持管理費14節工事請負費のうち、4・5号ごみ焼却施設では10件の工事を行い、合計3億7,716万5,800円を支出している。

不燃・粗大ごみ処理施設では、令和4年度から運営をSPCに委託することとなったため、工事請負費の支出はなく、工事請負費全体では11件の補修工事等を実施し、総額3億8,420万5,800円を支出している。

#### **業務委託について**

令和5年度の塵芥処理維持管理費の業務委託の中で主要なものとしては、可燃ごみ処理（広域支援）2億8,842万4,560円、ごみ焼却施設の運転2億3,258万4,000円、令和4年度から開始された不燃・粗大ごみ処理施設の運営維持管理委託2億486万1,800円、などである。

委託内容別に見ると、処理・処分等委託では、前掲の可燃ごみ処理（広域支援）のほか、廃棄物の運搬等9,002万4,000円、破碎残渣5,224万9,725円などがあり、合計4億3,976万3,029円を支出している。

施設等維持管理委託では、プラント運転として、前掲のごみ焼却施設の運転のほか、処理場清掃業務として、炉内・煙突・汚水槽の清掃委託で858万円、合計2億4,116万4,000円を支出

している。

測定等委託では、環境測定及びダイオキシン類等測定を行い、合計で776万3,800円を支出している。

機器等保守整備委託では、機器保守点検に3,882万3,400円を支出している。

作製等委託では、のぼり旗等の作製に7万7,000円を支出している。

運営維持管理委託は、不燃・粗大ごみ施設の運転等に2億486万1,800円を支出している。

以上により、塵芥処理維持管理費の委託料全体では、合計9億3,245万3,029円を支出している。

資源物処理維持管理費では、処理・処分等委託として、廃棄物の運搬1,867万8,000円、及び容器包装再商品化204万3,577円、合計2,072万1,577円、施設等維持管理委託では、主に資源物中間処理施設の運転2億900万円、清掃業務224万700円などで、合計2億1,203万940円、測定等委託では、臭気・水質測定、搬入物展開検査など206万8,000円、機器等保守整備委託では、1,398万7,820円を支出している。資源物処理維持管理費の委託料全体では、2億4,880万8,337円を支出している。

#### **組合債について**

4款公債費1項1目元金では、2億5,400万5,472円、同項2目利子では、起債元金に対する利子で、2,229万5,958円の支出を行っている。

決算年度末の未償還額は、平成28年度から令和5年度までの起債分の元金76億6,014万2,081円、利子5億6,079万2,707円、合計82億2,093万4,788円となっている。

#### **財産について**

公有財産の土地及び建物では、前年度からの増減はない。物品についても、増減はない。

3つある基金のうち、職員退職手当基金については、組合固有職員の年間給料の8%相当額と利子分を合わせて積立を行っている。決算年度中の増減額は、積立金166万9,009円、利子分7,991円、合計167万7,000円を積み立て、決算年度末現在額4,131万円となっている。

財政調整基金は、令和4年度繰越金の半分の8,151万2,804円、容器包装リサイクル協会拠出金相当分5,502万2,988円、歳入歳出調整額及び利子分等として2億3,972万7,208円、合計3億7,626万3,000円を積み立て、1億9,469万9,000円の繰入れを行い、決算年度末現在額は6億8,449万3,000円となっている。



施設整備基金は、利子分等31万3,000円を積み立て、5億8,665万3,000円の繰り入れを行い、決算年度末現在額は16億9,177万3,000円となっている。

これらの基金の運用については、大口定期預金を利用している。施設整備基金については、令和5年度から債券を購入して運用を図っている。

その他の現金については、指定金融機関等において保管、運用されている。



# 参 考 资 料



## 目 次

1	決算の規模 .....	1
2	資金の状況 .....	2
3	小平・村山・大和衛生組合一般会計	
	(1) 歳入	
	第1款 分担金及び負担金 .....	3
	第2款 使用料及び手数料 .....	3
	第3款 国庫支出金 .....	3
	第4款 財産収入 .....	3
	第5款 繰入金 .....	4
	第6款 繰越金 .....	4
	第7款 諸収入 .....	4
	第8款 組合債 .....	4
	(2) 歳出	
	第1款 議会費 .....	5
	第2款 総務費 .....	5
	第3款 塵芥処理場費 .....	5
	第4款 公債費 .....	5
	第5款 予備費 .....	5
4	財産に関する調書	
	(1) 公有財産 .....	6
	(2) 物品 .....	6
	(3) 基金 .....	6



## 1 決算の規模

令和5年度決算の概要は、次のとおりである。

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
令和5年度	7,391,537,725 円	6,619,602,932 円	771,934,793 円	584,233,000 円	187,701,793 円
令和4年度	5,823,999,146 円	5,509,523,538 円	314,475,608 円	151,450,000 円	163,025,608 円

令和5年度の決算額は、歳入73億9,153万7,725円、歳出66億1,960万2,932円、翌年度に繰り越すべき財源は5億8,423万3,000円、実質収支1億8,770万1,793円である。

対前年度比は、歳入が26.9%の増、歳出が20.1%の増である。

歳入では、4款財産収入、7款諸収入は減となっており、これら以外は増となっている。

歳出では、全ての款で増となっている。

## 2 資金の状況

単位:円

区 分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)	出納整理期間 (4月～5月)	合 計
前期残 (A)	-	533,780,777	576,599,845	778,234,278	4,739,956,517	-
収 入 (B)	1,091,803,567	624,786,235	622,006,785	5,042,186,208	10,754,930	7,391,537,725
支 出 (C)	558,022,790	581,967,167	420,372,352	1,080,463,969	3,978,776,654	6,619,602,932
(A)+(B)-(C)= (D)	533,780,777	576,599,845	778,234,278	4,739,956,517	771,934,793	-
資金融通	借 (E)	-	-	-	-	-
	繰戻 (F)	-	-	-	-	-
資金融通	貸 (G)	-	-	-	-	-
	繰戻 (H)	-	-	-	-	-
一時借入金	借入 (I)	-	-	-	-	-
	返済 (J)	-	-	-	-	-
繰 越 金 (K)	533,780,777	576,599,845	778,234,278	4,739,956,517	771,934,793	771,934,793

出納閉鎖時における収入済額は、73億9,153万7,725円、支出済額は、66億1,960万2,932円、歳入歳出差引額7億7,193万4,793円を繰越明許費の財源5億8,423万3,000円、実質収支額1億8,770万1,793円に分けて、翌年度に繰り越されている。

主な収入として、第1四半期は組織市からの分担金7億7,100万円、及び前年度繰越金3億1,447万5,608円(繰越明許費1億5,145万円含む)、第2四半期は分担金6億1,300万円、第3四半期は分担金6億1,300万円、第4四半期は分担金4億6,300万円、国庫補助金13億1,857万6,000円(繰越明許費分)、基金繰入金7億8,135万2,000円、組合債24億800万円(繰越明許費分)が収入されている。

主な支出としては、第1四半期に、新ごみ処理施設建設工事前払金2億円、可燃ごみ処理委託(広域支援)1億2,342万3,620円、第2四半期に、公債費1億2,862万125円、第4四半期に、財政調整基金積立金3億7,626万3,000円、4・5号ごみ焼却施設補修工事1億4,487万円、公債費1億4,768万1,305円、出納整理期間に、新ごみ処理施設建設工事36億2,428万5,000円、4・5号ごみ焼却施設補修工事1億6,292万9,800円が支出されている。全期間を通しては、可燃ごみ処理(広域支援)委託、ごみ焼却施設運転管理委託、及び新ごみ処理施設運営維持管理委託があったほか、経常的な経費が支出されている。

当年度の資金運用の利子は、職員退職手当基金7,991円、財政調整基金9万9,483円、施設整備基金30万9,146円の計41万6,620円で、適切に運用が図られている。



3 小平・村山・大和衛生組合一般会計

(1) 歳入

1款 分担金及び負担金

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,460,000,000 円	2,290,000,000 円	170,000,000 円	7.4 %

① 令和5年度分担金額及び負担率

区 分 市 別	分担金の負担率	分担金額	備 考	
			ごみ搬入量 (令和3年度実績)	資源物搬入量 (令和3年度実績)
小 平 市	51.24 %	1,260,576,000 円	34,202.33 t	2,849.94 t
東 大 和 市	24.23	595,947,000	15,181.78	1,111.13
武 蔵 村 山 市	24.53	603,477,000	15,633.06	1,024.16
計	100.00	2,460,000,000	65,017.17	4,985.23

② 分担金の性質別内訳

区 分	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度増減額
人 件 費	156,782,366 円	173,569,796 円	△ 16,787,430 円
物 件 費	1,381,795,756	1,583,104,497	△ 201,308,741
維持補修費	400,545,498	365,874,760	34,670,738
扶 助 費	1,190,000	1,570,000	△ 380,000
補助費等	2,084,362	2,063,239	21,123
普通建設事業費	0	9,931,649	△ 9,931,649
公 債 費	276,301,430	152,275,628	124,025,802
積 立 金	241,300,588	1,610,431	239,690,157
合 計	2,460,000,000	2,290,000,000	170,000,000

2款 使用料及び手数料

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
92,107 円	87,252 円	4,855 円	5.6 %

3款 国庫支出金

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
1,318,576,000 円	837,508,000 円	481,068,000 円	57.4 %

4款 財産収入

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
416,620 円	1,232,196 円	△ 815,576 円	△ 66.2 %

## 5款 繰入金

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
781,352,000 円	525,290,000 円	256,062,000 円	48.7 %

## 6款 繰越金

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
314,475,608 円	101,678,746 円	212,796,862 円	209.3 %

## 7款 諸収入

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較		
		増減額	増減率	
108,625,390 円	149,202,952 円	△ 40,577,562 円	△ 27.2 %	
預金利子	8,500	4,591	3,909	85.1
雑入	108,616,890	149,198,361	△ 40,581,471	△ 27.2

## 雑入内訳

区 分	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度増減額
アルミくず売払い	2,993,709 円	2,792,210 円	201,499 円
アルミ流れ売払い	8,030	686	7,344
鉄くず売払い	7,681,336	10,735,324	△ 3,053,988
破碎鉄くず売払い	13,607,404	16,429,807	△ 2,822,403
焼鉄くず売払い	6,732,064	3,523,091	3,208,973
施設廃材等売払い	822,646	948,288	△ 125,642
有価物(廃家電等)売払い	421,348	397,479	23,869
スプリングマットレス売払い	1,281,848	1,654,475	△ 372,627
古紙の売払い	2	2	0
全国市長会任意共済制度事務費等	62,615	90,949	△ 28,334
放射能測定に要した費用の賠償金	910,800	910,800	0
債券購入振込手数料還付金	935	0	935
容器包装リサイクル協会拠出金	59,875,098	85,923,253	△ 26,048,155
消費電気料	13,981,450	17,179,388	△ 3,197,938
自動販売機等消費電気料	167,718	195,279	△ 27,561
雇用保険料	18,407	49,182	△ 30,775
契約違約金	51,480	0	51,480
水道使用料	0	247,764	△ 247,764
拾得物権利発生	0	8,000,000	△ 8,000,000
薬剤使用料	0	120,384	△ 120,384
計	108,616,890	149,198,361	△ 40,581,471

## 8款 組合債

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,408,000,000 円	1,919,000,000 円	489,000,000 円	25.5 %

## (2) 歳 出

## 1款 議会費

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,659,887 円	2,268,594 円	391,293 円	17.2 %

## 主な増減

・旅費の増	……………	212,140 円
・使用料及び賃借料の増	……………	114,230 円

## 2款 総務費

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
648,493,730 円	410,521,024 円	237,972,706 円	58.0 %

## 主な増減

・積立金の増	……………	248,680,000 円
・給料・手当・共済費の減	……………	△ 18,452,435 円

## 3款 塵芥処理場費

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
5,692,147,885 円	4,944,458,292 円	747,689,593 円	15.1 %

## 主な増減

・工事請負費(建設費)の増	……………	1,000,141,000 円
・負担金(建設費)の皆減	……………	△ 188,870,249 円

## 4款 公債費

令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
276,301,430 円	152,275,628 円	124,025,802 円	81.4 %

## 公債費償還額

	元 金	利 子	合 計
財政融資資金等	254,005,472 円	22,295,958 円	276,301,430 円

## 5款 予備費

区 分	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年度増減
予備費充当額	657,000 円	692,000 円	△ 35,000 円
件 数	3 件	6 件	△ 3 件

#### 4 財産に関する調書

##### (1) 公有財産

土地	9,825.39 m <sup>2</sup>	対前年度増減なし
建物	14,099.74 m <sup>2</sup>	対前年度増減なし

##### (2) 物品(50万円以上)

普通乗用車等	12台	対前年度増減なし
--------	-----	----------

##### (3) 基金

###### 基金の年度中増減額

職員退職手当基金	1,677,000 円
財政調整基金	181,564,000 円
施設整備基金	△ 586,340,000 円
計	△ 403,099,000 円

###### 基金の決算年度末現在高

職員退職手当基金	41,310,000 円
財政調整基金	684,493,000 円
施設整備基金	1,691,773,000 円
計	2,417,576,000 円

